

# 2018年度決算説明会 ～ 決算の概況および中期経営計画～

2019年5月13日  
住友ベークライト株式会社  
代表取締役社長  
藤原一彦

# 2018年度（2019年3月期） 決算の概況 [IFRS]

# 2018年度業績 [IFRS]

[金額単位：億円]

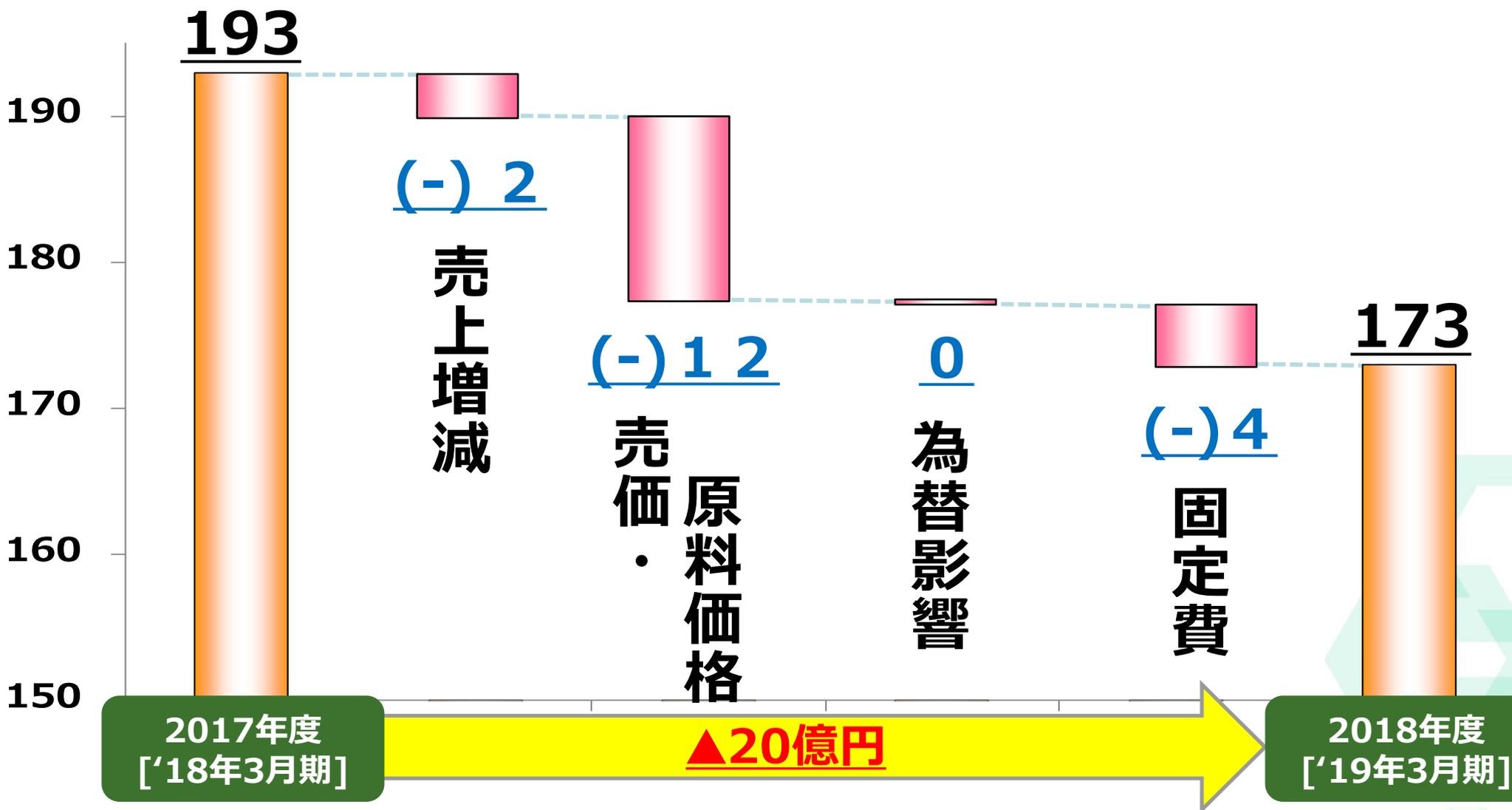
	2017年度 ['18年3月期]①	2018年度 ['19年3月期]②	前期比較	
			金額(②－①)	増減率
売上収益	2,118	2,130	11	0.5%
事業利益	193	173	-20	-10.2%
営業利益	186	136	-50	-26.9%
当期利益	151	151	0	0.0%

為替 (円/US\$)	110.81	110.69	*****	*****
為替 (円/€)	129.45	128.43	*****	*****

※ 「事業利益」は「売上収益」から「売上原価」、「販管費及び一般管理費」を控除したベース  
「当期利益」は親会社の所有者に帰属する当期利益

# 事業利益増減要因・前年同期比 [IFRS]

[億円]

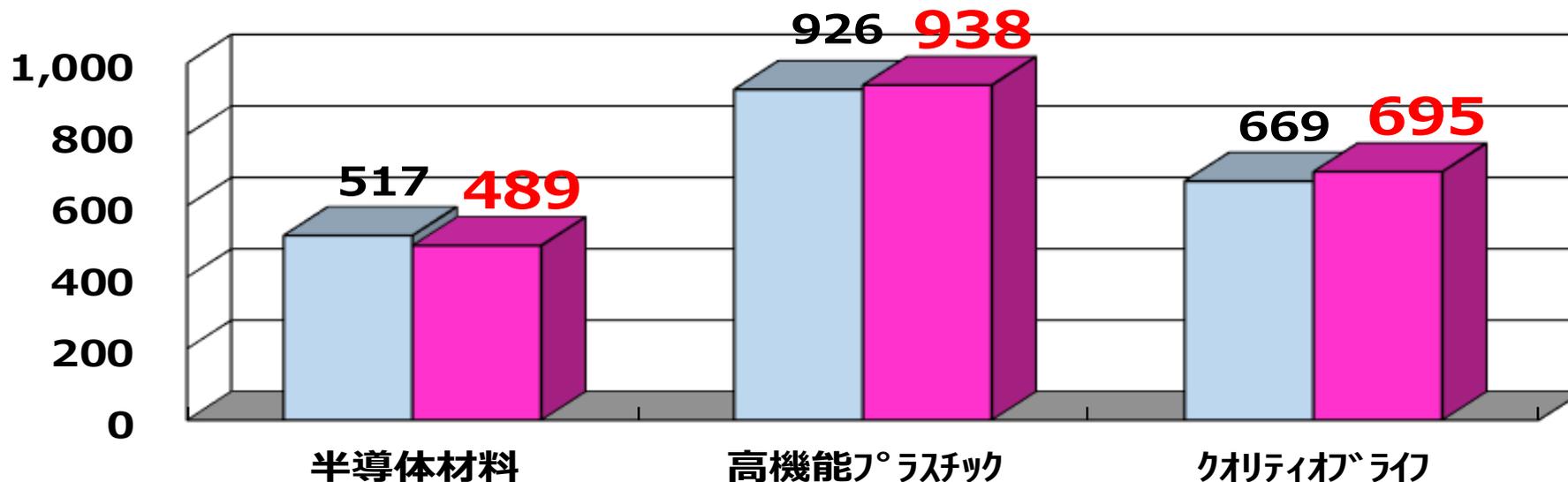


# 事業セグメント別業績比較 [IFRS]

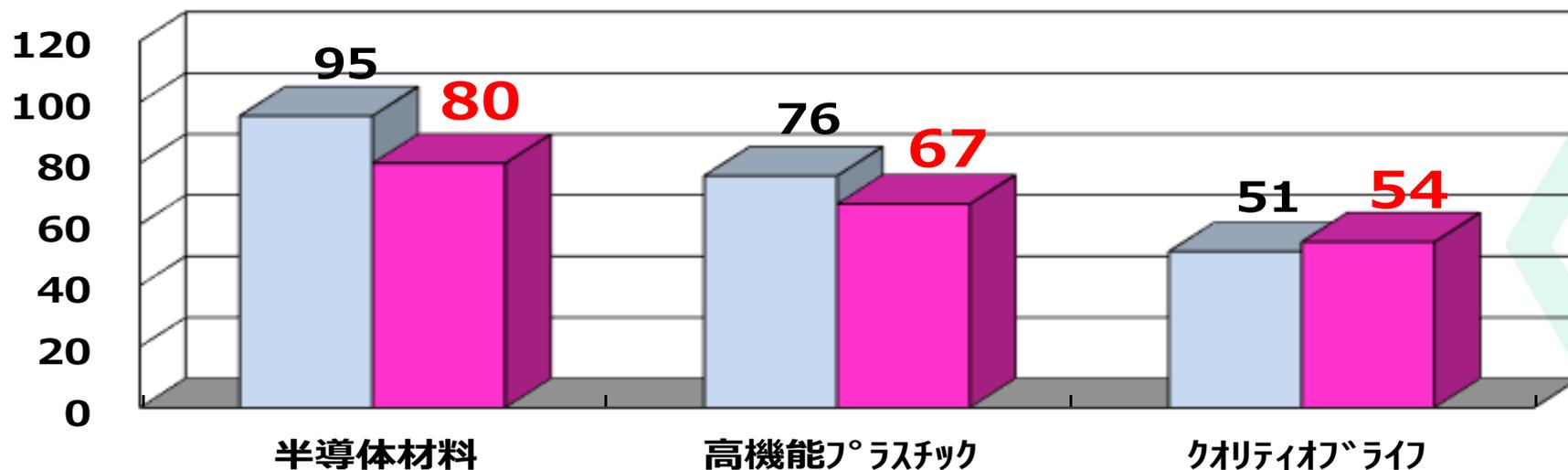
## 【売上収益】

□ 2017年度[2018年3月期]    ■ 2018年度[2019年3月期]

[単位：億円]

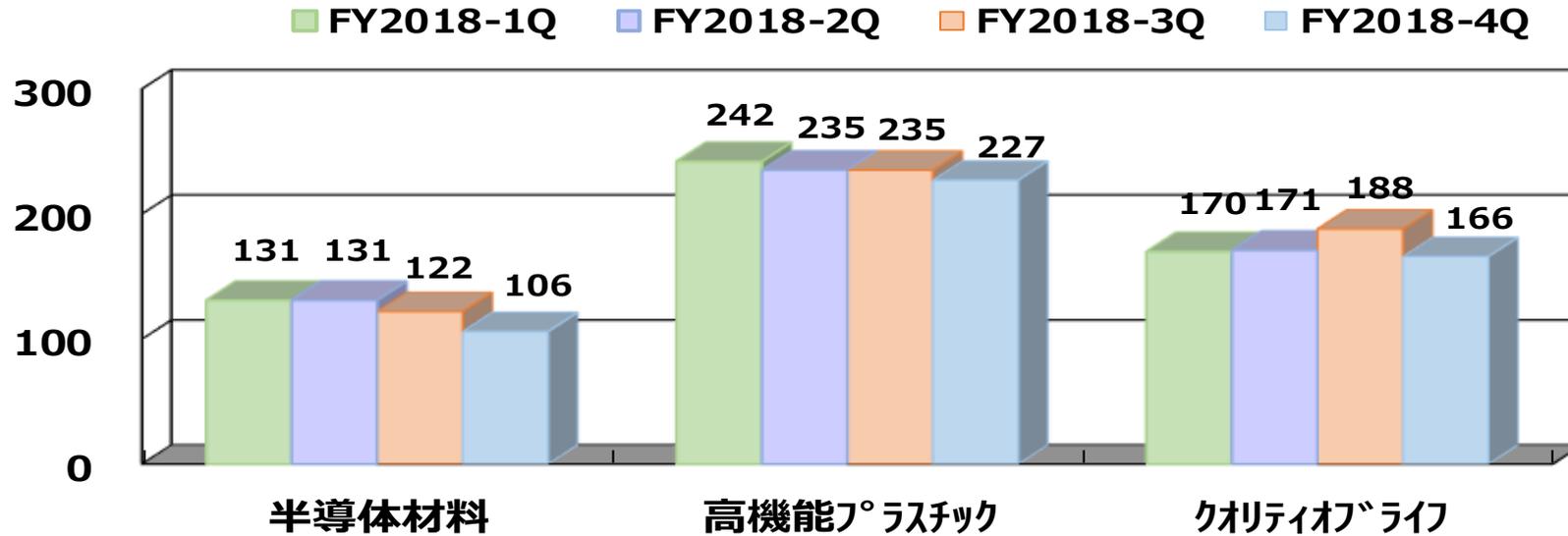


## 【事業利益】



# 事業セグメント別四半期販売推移(2018年度)

[単位：億円]



- ◆半導体材料は、主力の半導体封止材が3Q以降急激に落ち込み前年割れ
- ◆高機能プラスチックも3Q以降は夏季休暇のある2Qから伸びず、車載向けを中心に低調
- ◆クオリティオブライフは自然災害特需等で3Qは伸長、底堅く推移

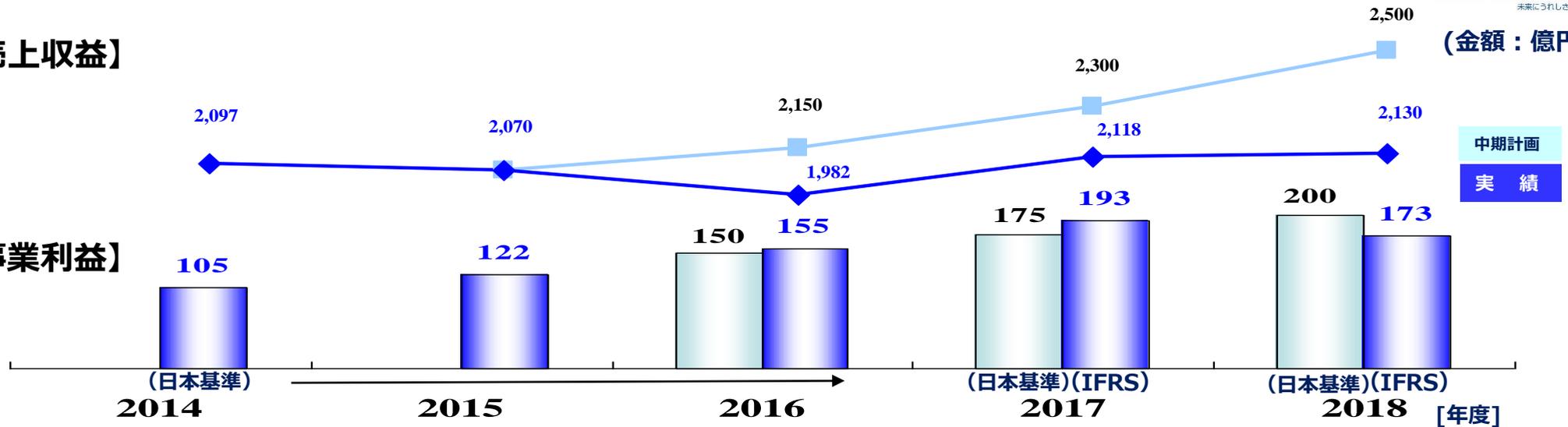
# 中期経営計画の振り返り (2016-2018年度 [日本基準])

# 中期経営計画（2016～2018年度）の振り返り

(金額：億円)

【売上収益】

【事業利益】



売上は中期初年度から乖離、利益は中期2年目までは増益継続、最終年度で急落

## 基本戦略

- 新製品の早期立上げ、創生
- 成長分野の収益力強化、規模拡大
- 既存事業の再生、事業転換

## 実施結果

- ⇒ **×** 新製品の戦力化遅延
- ⇒ **△** 車載向けで拡販が進むも'18年度後半需要減  
主要顧客生産調整により航空機部材需要低迷
- ⇒ **○** 国内外の人員適正化  
国内外生産拠点、営業体制等の最適化  
不採算事業の縮小、撤退

# 新中期経営計画の概要 (2019-2021年度)

# 新中期経営計画の概要①



## ■ 社是

『我が社は信用を重んじ、確実を旨とし、事業を通じて社会の進運および民生の向上に貢献することを期する』



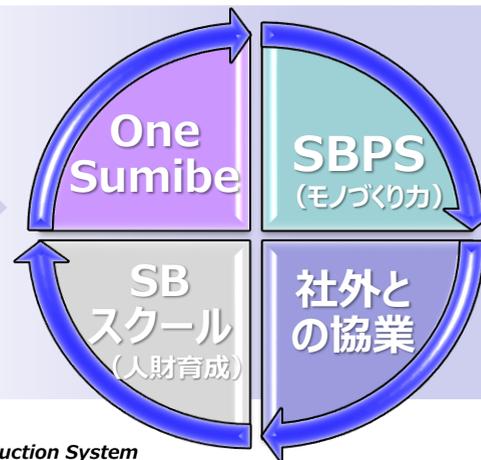
究極潜在ニーズ”SDGs（持続的開発目標）”の具現化は社是と一致

プラスチックの可能性を広げ、お客様の価値創造を通じて、  
**「未来に夢を提供する会社」**を目指します。

「コアコンピタンス」 SDGs & CS最優先

## ■ 基盤技術

- ・材料技術  
(樹脂配合・設計 /モノマー・ポリマー合成)
- ・プロセス設計技術
- ・評価技術



**Innovation 両立**

事業機会の創出

社会課題  
の解決・貢献

※SBPS: Sumitomo Bakelite Production System

# 新中期経営計画の概要②

## ■ 基本方針：

SDGs に則した“One Sumibe”活動の実践により、機能性化学分野での「ニッチ&トップシェア」の実現とともに、事業規模の拡大を図る。

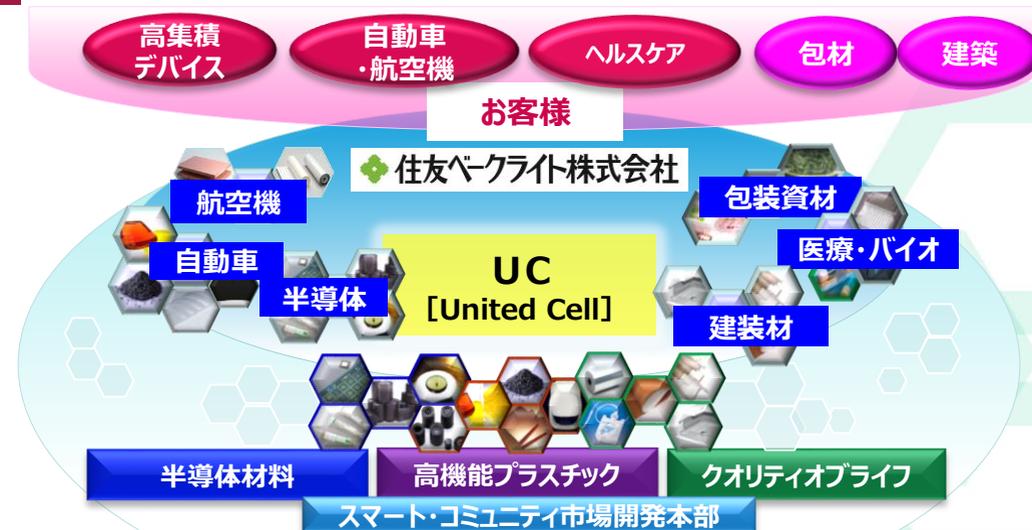
### SDGs を重点領域（目標 5 + 1）を核に推進



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

### One Sumibe活動をWWに展開

- お客様に全社横断的価値の提供
- お客様の潜在ニーズと事業機会の創出



# 新中期経営計画の概要③

## ■ 基本戦略

- ① 競争優位性のある新製品の開発、早期戦力化
- ② 既存製品の収益力強化、領域（用途・地域）拡大
- ③ 成長領域における積極的な戦略投資（M & A等）

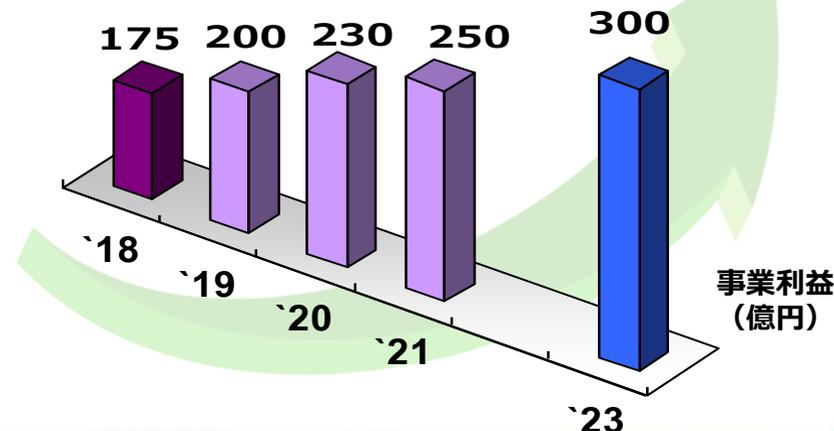
## ■ 数値目標

2021年度(中計最終年度)

売上収益 2,500億円  
事業利益 250億円  
ROE10%以上

2023年度

売上収益: 3,000億円  
事業利益: 300億円 <



# 当社を取り巻く事業環境

## 社会情勢

- ・米中貿易摩擦による景気減速、英国のEU離脱等政情不安で先行き不透明

## 原料価格動向

- ・天然資源・石化原料は不安定ながらも緩やかに上昇基調

## エレクトロニクス

- ・スマホの中国市場の冷え込み、新型機種の不人気、PCのCPU大手での供給難等に加え、サーバーもGAFAの投資延期で低調
- ・依然本格的回復には至らず2020年以降5Gによる需要喚起に期待

## 自動車

- ・北米はピークアウトしたものの依然底堅く推移する一方、欧州は昨年9月以降新燃費試験(WLTP)導入で、中国も景気減速により低調

## 住宅（国内）

- ・新設住宅着工戸数は貸家中心に落ち込み伸び悩む  
今後の消費増税前の駆け込み需要等の影響を注視

# 2019年度 業績予想 [IFRS]

[金額単位：億円]

	2018年度 ['19年3月期] 実績①	2019年度 ['20年3月期] 予想②	比較増減	
			金額 (② - ①)	増減率
売上収益	2,130	2,200	70	3.3%
事業利益	173	200	27	15.7%
当期利益	151	151	0	0.1%
為替 (円/US\$)	110.69	110.00	*****	*****
為替 (円/€)	128.43	125.00	*****	*****

※ 「事業利益」は「売上収益」から「売上原価」、「販管費及び一般管理費」を控除したベース  
 「当期利益」は 親会社の所有者に帰属する当期利益

# 事業セグメント別重点施策

# 1. 半導体関連材料

半導体材料技術でスマート社会において新しい価値を提供します



## ■ 車載等の成長領域における市場創造、量拡大

▼“生・販・研”一体対応によるシェア拡大

半導体封止材：WWシェア40%超（目標）

▼『オープンラボ+社外との協業強化』による実用化促進

（日本・欧州・北米・中国・シンガポール・台湾）

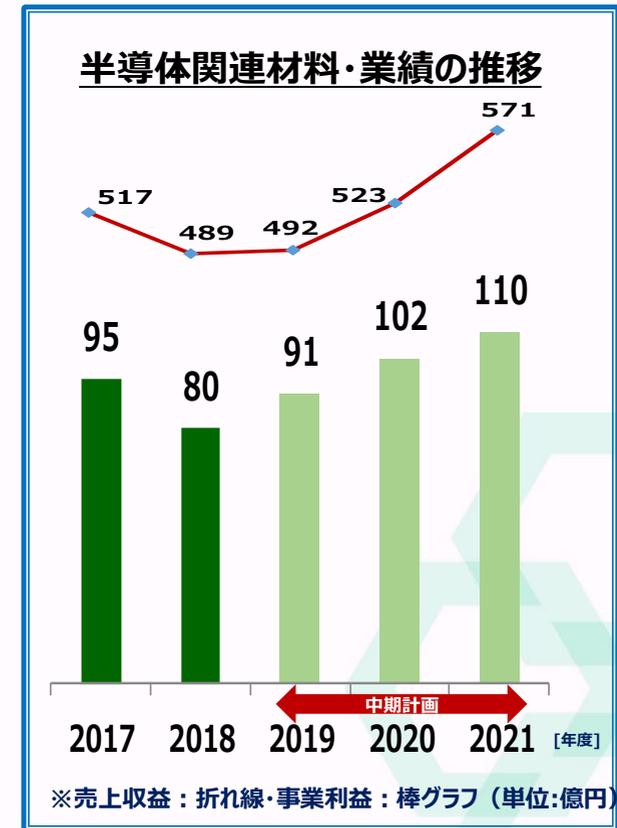
▼ゼロディフェクト推進による競争優位強化

## ■ 高集積デバイス領域でのラインナップ強化

▼MUF/圧縮成形用顆粒封止材の適用拡大

▼先端PKG用材料の開発強化

（5G関連材料、パワー半導体用材料等）



# 2. 高機能プラスチック

競争優位製品を核に事業強化を通じて環境課題解決に貢献します

7 エネルギーをみんなに  
そしてクリーンに

9 産業と技術革新の  
基盤をつくらう

12 つくる責任  
つかう責任

## ■ グローバル3 戦略製品、地域競争優位製品の拡販・横展開

### 【グローバル3 戦略製品】



■ ブレーキピストン用成形材料



■ タイヤ用レジン



■ 摩擦材用レジン

### 【地域競争優位製品】

[北米]



■ シェールオイル・ガス掘削用材料

[欧州]



■ 断熱材フォーム用レジン

[アジア]



■ ボビン用材料

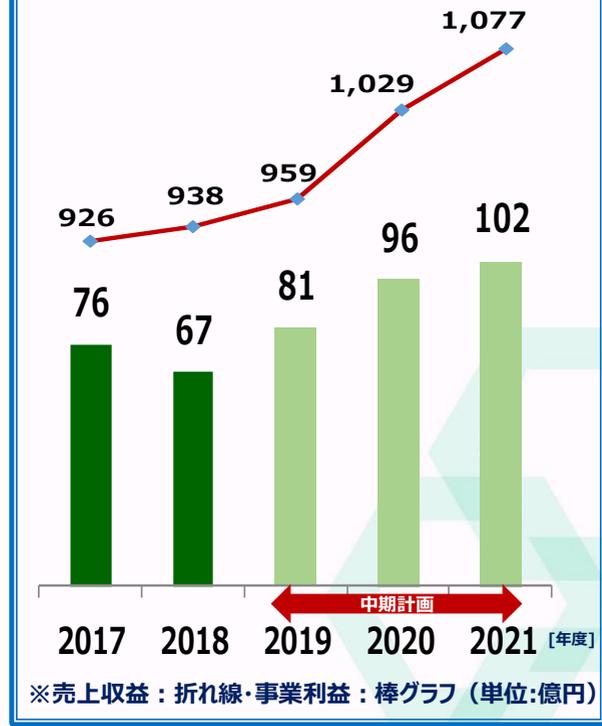


■ コンミテータ



■ 感光材用レジン

### H P P・業績の推移



## ■ 航空機分野の事業基盤強化・領域拡大

▼ Vaupell社の北米拠点最適化による事業効率化

▼ Boeing以外の顧客層拡大（アフターマーケット含む）

▼ SB全部材シナジーによる素材からアセンブリまでの提供

# 3. クオリティオブライフ

高度な機能の提供を通じて、人々の暮らしの課題解決に貢献します

【ヘルスケア】



## ▼成長領域・低侵襲治療分野への積極的展開

⇒高度医療管理医療機器（クラスⅢ/Ⅳ）へのシフト

- ・カテーテル、ステント等の品揃い強化
- ・川澄化学工業(株)との資本業務提携

血管内治療器具



マイクロカテーテル



胆管ステント

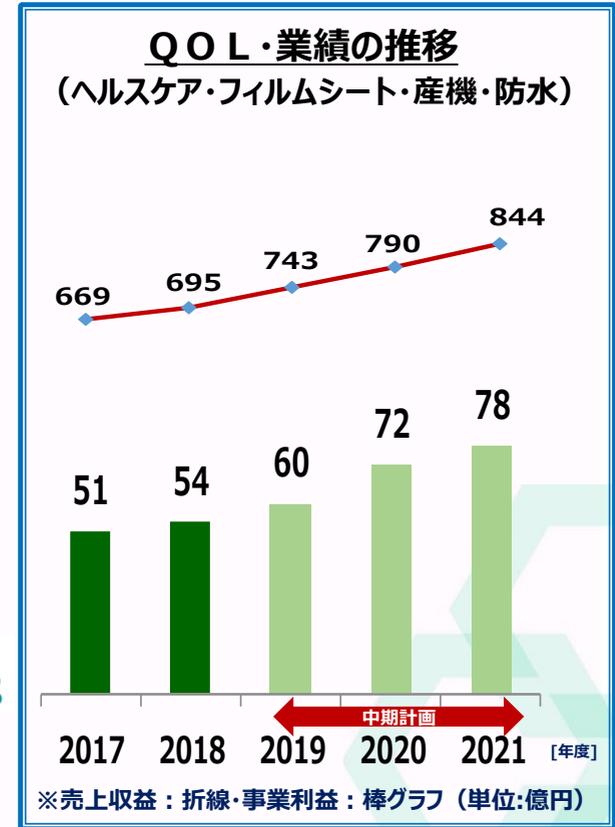
## ▼医療機器の高度化・専門化対応

⇒地域別から製品別営業組織へ改編

サージカル製品  
(外科治療)

エンドスコープ製品  
(内視鏡治療)

バスキュラー I & VR 製品  
(血管内治療)



## ▼社外との連携・協業によるWWでの事業規模拡大

[医療機器]：オリンパス（米国）、Merit Medical社等

[バイオ]：SBバイオサイエンス(株)の営業開始 `19年4月～

(大日本住友製薬(株)との合併)



SBバイオサイエンス

# [トピックス] 川澄化学工業(株)との資本業務提携

川澄化学工業(株)の既存株主より議決権ベースで23%の株式を取得し、  
医療機器製品事業における資本業務提携契約を締結（19年3月20日）

## [主な提携内容]

医療機器製品情報や国内外拠点の相互活用、次世代製品の共同研究開発の協議・検討



成長領域と位置付ける血管内治療や消化器分野において、本提携を通じて販売情報共有や研究開発等で協業を推進し事業規模拡大を図る。

# 【フィルム・シート】



**[医療] ▼医薬品包装・高防湿シート等の国内外拡販**



■ 医薬品包材



■ 機能性医療用包材

**▼機能性医療用包材の開発・拡販**

⇒滅菌包装、イージーピール技術による最適化を武器に！

**[食品] ▼P-プラス<sup>®</sup>+食品包装の統合シナジー発現**

⇒青果、ハムソーから精肉、水産、総菜へ領域拡大

**P-プラス<sup>®</sup>システム**

約60種類の青果物やカット野菜等に採用



・[例]精肉：✓消費期限延長・包材減少



トレー+ラップ<sup>®</sup> 2-3日



スキンパック 7-8日



<p>MA包装 <b>P-プラス<sup>®</sup></b> 鮮度保持フィルム</p>	<p>蒸気防止仕様 <b>P-プラス<sup>®</sup></b> 鮮度保持フィルム</p>	<p>酸素バリア仕様 <b>P-プラス<sup>®</sup></b> 鮮度保持フィルム</p>	<p>NEO FRESH MA包装 鮮度保持フィルム</p>
<p>防曇フィルム 呼吸量コントロール</p>	<p>特殊透湿性フィルム (呼吸量コントロール)</p>	<p>カビ増殖抑制フィルム (呼吸量コントロール)</p>	<p>きのこの呼吸をコントロールする フィルムです。</p> <p>防曇フィルム 呼吸量コントロール きのこの用</p>



**食品や包材廃棄量減、低コスト**

**[産業] 中国（南通）拠点フル活用によるローカル企業への本格参入**



■ GTPテープ ■ DTPフィルム ■ FPC用離型フィルム



南通住友電木有限公司

# 【産業機能性材料・防水関連製品】

## ▼高付加価値分野への事業転換

[産機] 競争優位・高収益製品の投入

### HUD

(Head Up Display)

✓高耐久・光学制御・耐候性

★太陽光・熱線をカットし  
フロントガラスの表示を確保



●HUD用フィルター

### 二輪風防

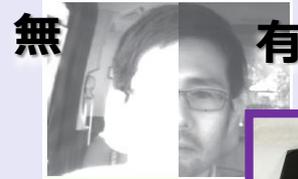
✓耐衝撃・耐傷性



### カメラ・センサー

✓高耐久・光学制御

★外光ノイズをカットし  
必要な光のみを透過



●選択波長遮蔽ポリカ

### アイウェア

✓高耐久・光学制御

★反射による散乱光を  
遮断し自然光を通す



●光学制御ポリカ  
●ポリカ偏光板

[防水] 高耐久等の差別化製品の品揃え強化  
⇒屋根用防水断熱パネル・スミルーフDN<sup>®</sup>の拡販

新製品



●スミルーフDN<sup>®</sup>



✓高断熱・軽量・高耐久

★「塩ビ鋼板+断熱パネル」構造  
軽量、簡易施工で工期短縮  
耐火試験に合格

## ▼建装材・BtoBビジネスの強化・拡大

- ・階層別関係強化、協業（施主・設計・ゼネコン・鉄道事業者）
- ・大面積（マンション・工場・倉庫）、住宅リフォーム市場への拡販

# 研究開発の取組み

真に顧客に求められ社会に受け入れられる商品、それに必要な技術の開発

当社の**重点領域**からの発想



高集積デバイス

自動車・航空機

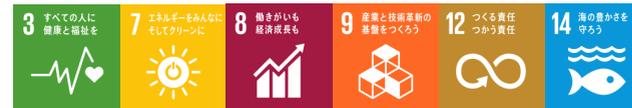
ヘルスケア



世の中ニーズ = **究極の潜在ニーズ**からの発想

貢献SDGs領域

5 + 1



- ◆ 市場伸び率 × 市場規模の検証
- ◆ 関連部門と連携しての顧客へのヒアリング・検証
- ◆ 競争優位機能 = アピールポイントを商品毎に明確化する



**スピード感を持って研究テーマを構想・企画し、事業化に繋げる**

# 重点開発テーマの早期事業化に向けて

必要な機能を明確にし、社内横串 + 外部との積極的な協業で加速

社会・顧客ニーズ

当社新商品

技術開発

安全・安心

先進運転支援  
システム

超高速・低遅延  
通信

非破壊センシング

ポイントオブケア

低侵襲医療



ECU/TCU  
用封止材



アンテナ材



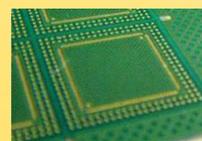
故障検知機能付  
光導波路



消化管ステント



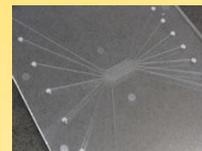
高放熱材料



低誘電基板



柔軟伸縮配線材



マイクロ  
フルイデクス

新機能材料開発

- >20W/m・K放熱絶縁材
- 低誘電損失樹脂
- 難燃性材料
- ...



新プロセス・複合化技術開発

- 高防湿POシート
- 電磁波シールド材
- ...



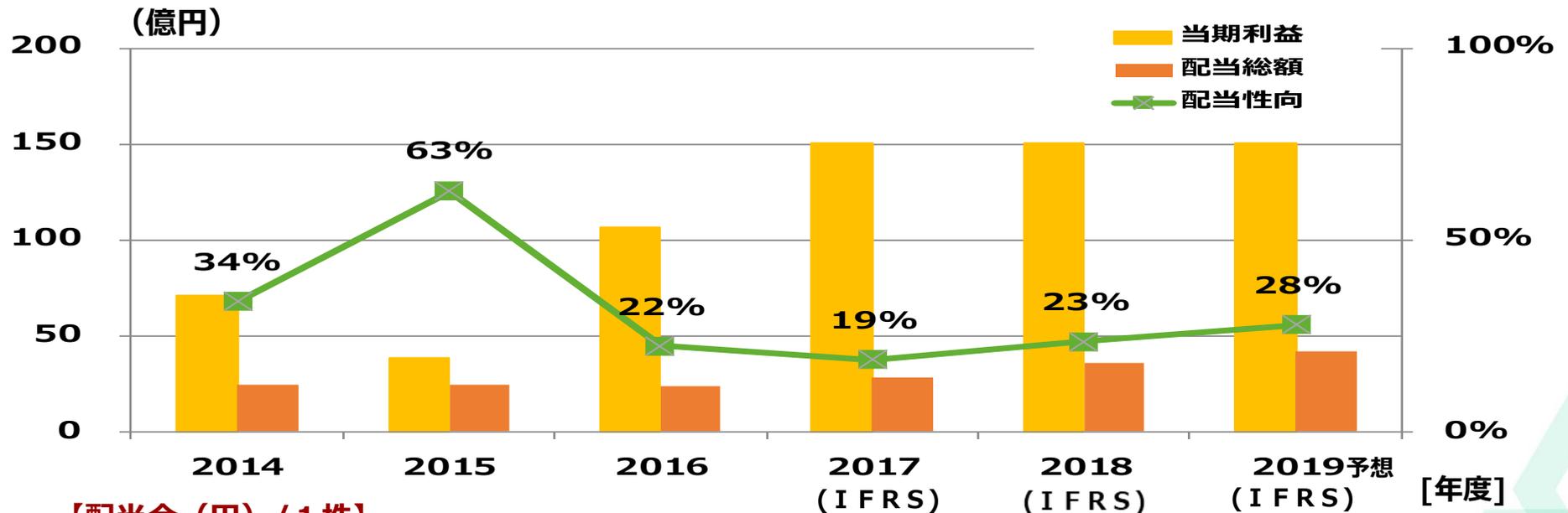
産学連携・共同開発での技術  
開発

# 資本政策

# 株主還元の様況

## ■ 配当予想 : 90円/1株 (中間45円・期末45円)

既存事業の強化と将来の成長に向けた戦略投資、財務体質および業績水準など総合的に勘案し、安定的な配当を継続することを基本とする。



### 【配当金 (円) / 1株】

	2014	2015	2016	2017	2018	2019 予想
中間配当	5.00	5.00	5.00	6.00	7.50	45.00
期末配当	5.00	5.00	5.00	6.00	7.50	45.00
年間配当	10.00	10.00	10.00	12.00	15.00	90.00

※2018年10月に5株式会社併合 (5株⇒1株) を実施したが、2018年度は併合前ベースで表記。